

## 「戦争を知らない……」いつまでも

無職

(沖縄県 73)

1970年代、「戦争を知らない子供たち」(作詞・北山修、作曲・杉田二郎)がヒットした。当時、ベトナム共産化阻止のため、米国は延べ約260万人の兵士を投入、沖縄からも米兵が送られたが、敗退。地域紛争が軍事力では解決しないことを象徴した米国最初の敗戦だった。当時の沖縄では米兵による事件や事故が多発した。日本人をはねて死亡させた米兵に米軍の法廷が無罪判決を下したことから、「コザ騒動」も起こった。私は復帰への不安と希

望の中、反戦デモに参加したことを昨日のことのように思い出す。

今日でも、戦闘機の騒音、米兵による事件事故などは当時と何も変わらない。最近では、尖閣諸島をめぐる日中が対峙し、国防の名目で宮古島や石垣島などの先島諸島で、自衛隊の基地が増強されている。もし戦闘になると、死傷するのは住民である。武器では住民は守れない。外交力で平和を維持すべきだ。

「戦争を知らない子供たち」は、戦争を体験しない若者が青空や花びらをめぐる姿で終わる。そんな平和な年となる年始であってほしい。